

THE
TREES OF
JOUMON
の



第10号

2021, 6.1

水子貝塚公園・水子貝塚資料館ニュース

2021年6月1日発行 編集・発行：水子貝塚資料館 ☎ 049-251-9686

水子貝塚資料館

検索

資料館 HP

QR コード



〒354-0011 埼玉県富士見市大字水子 2003-1 FAX 049-255-5596

第8期市民学芸員活動スタート



水子貝塚での市民学芸員養成講座

水子貝塚資料館と難波田城資料館は、平成12年度から市民学芸員制度を導入しています。展示の説明や体験イベントなどでお世話になった方もいるのではないのでしょうか。

この市民学芸員という制度は、市民参加のボランティアという位置付けだけではなく、資料館での活動とおした生涯学習の実践も目的としています。

市民学芸員養成講座は3年ごとに開催されています。令和2年度は第8期となる養成講座が行われ、8月からの基礎講座（全8回）と、1月からの専門講座（全4回）の2部構成になっています。

基礎講座では富士見市の歴史全般を、専門講座では縄文時代や水子貝塚について学びました。専門講座の



第8期市民学芸員委嘱状交付式

内容は、「①縄文海進と水子貝塚」「②縄文時代の遺物と遺構について」「③住居の構造と復元住居」「④施設解説と体験学習の実践」でした。

これらの基礎講座と専門講座を修了すると、市民学芸員として登録することができます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今回は新規登録者のみにより4月3日（土）に第8期市民学芸員委嘱状交付式が開催されました。水子貝塚資料館では4名が新たな市民学芸員として加わり、計34名で第8期市民学芸員の活動がスタートしました。

新たな市民学芸員の皆さんの活躍にご期待ください。



展示室フ千百科 Vol. 3 北通遺跡出土の弥生時代の鉄剣

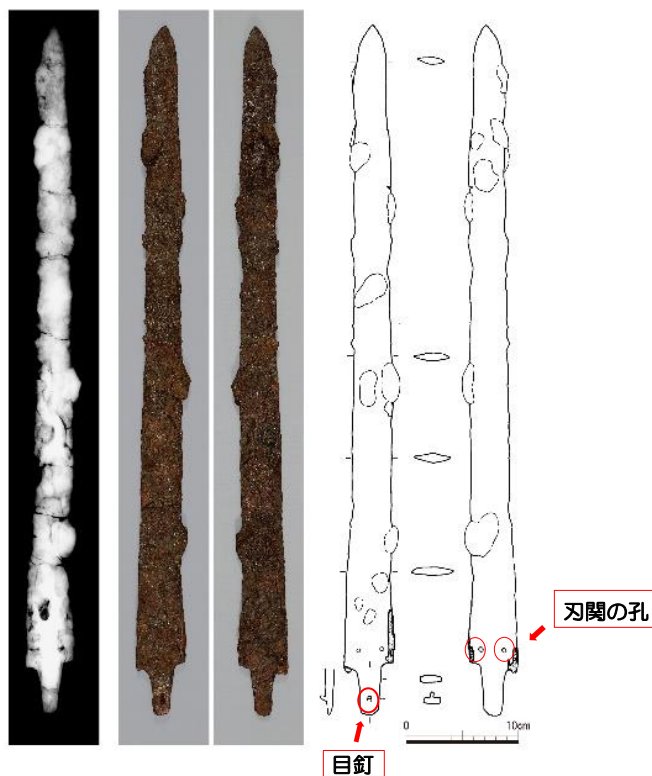
昭和61年(1986)に行われた北通遺跡(針ヶ谷1丁目)の発掘調査で、弥生時代後期の方形周溝墓から鉄剣が出土しました。方形周溝墓とは、溝で方形に区画した内側に土を盛り上げ墳丘とした、弥生時代特有の墓です。このとき調査された第8号方形周溝墓は、一辺12mを測る大規模なものでした。死者を埋葬した主体部からは鉄剣の他にガラス玉31点が見つかり、周溝からも底部を穿孔した大型の赤彩壺や、追葬されたと思われる壺棺などが見つかりました。

鉄剣の副葬は、弥生時代中期に九州北部からはじまり、後期には山陽・山陰・近畿北部、後期終末には北陸から中部・関東に広がりました。しかし、関東ではその数は少なく、30cm以上の長剣はさらに数が限られています。県内でこの時期の鉄剣は、北通遺跡以外に東松山市観音寺遺跡、さいたま市井沼方遺跡、上尾市坂上遺跡、朝霞市向山遺跡など8遺跡で出土しており、いずれも墓に副葬されていました。

北通遺跡の鉄剣は長さ61.7cmを測り、発見時は関東地方最長で、新聞などでも大きく取り上げられました。現在では千葉県市原市草刈遺跡の鉄剣(67.9cm)に次いで2番目となりましたが、全国でも6番目と最大級には変わりありません。ちなみに最長は鳥取県湯梨浜町宮内第1遺跡の71.4cmです。全体に錆が進行していますが、剣先から柄部分まで完存し、一部には剣の鞘だったと思われる木片が認められます。柄の部分には目釘が残り、刃関の部分には二つの孔が開

けられています。当時の関東では鉄剣の製造技術がなかったことから、大陸から九州、山陰、北陸を経て、当地にもたらされたものと考えられています。平成3年度、一緒に出土したガラス玉や土器とともに市指定有形文化財となり、平成30年度に再度保存処理が施されました。

方形周溝墓は、ムラの首長^{しゅちやう}クラスの有力者の墓です。これだけの鉄剣を所有することができた被葬者はいかなる人物だったのでしょうか。



企画展「首長の墓と鉄剣—富士見市の弥生文化—」を開催しています(6月13日(日)まで)

水子貝塚 トピックス⑤

市民学芸員ミュージアムショップに、新商品が登場！！



アクアキャンドル 500円
縄文の海をイメージした
キャンドル



SDはにわ 500円
デフォルメされた手のひら
サイズの「踊るはにわ」



とんぼ玉ネックレス 500円
古代のとんぼ玉(ガラス玉)を
ネックレスにアレンジ